

平成 29 年度第 4 回浜松市男女共同参画審議会 会議録

- 1 開催日時 平成 29 年 10 月 12 日(木) 午前 10 時から午前 11 時 10 分まで
- 2 開催場所 浜松市役所 本館 8 階 第 4 委員会室
- 3 出席状況
(1) 出席 犬塚協太委員、佐藤明美委員、清水康光委員、
杉島章弘委員、谷口卓委員、平口良子委員、藤田正治委員、
谷野富久恵委員、山本みさ子委員、吉林久委員 ※50 音順
(2) 事務局 山下昭一市民部長、
石川淳市民部次長兼ユニバーサル社会・男女共同参画推進課長
鈴木江利子男女共同参画担当課長
清水幸則共同参画グループ長、本多宏共、池田真梨子、近藤道子
- 4 傍聴者 2 人 (一般：0 人、記者：2 人)
- 5 議事内容 第 3 次浜松市男女共同参画基本計画 (案) について・・・資料 1 参照
- 6 会議録作成者 近藤道子
- 7 記録の方法 発言者の要点記録 (録音の有無：有)
- 8 配付資料 (1) 次第
(2) 第 3 次浜松市男女共同参画基本計画 (案)
- 9 会議記録 次頁以降のとおり

1 開会

清水G長

第4回男女共同参画審議会を開催する。

2 議題

第3次浜松市男女共同参画基本計画（案）

犬塚会長

事務局から説明のあった議題の「第3次浜松市男女共同参画基本計画（案）」について何か、ご意見、ご質問等あるか。

吉林委員

事業成果・社会成果指標一覧について、事業が終了したにもかかわらず、目標又は方向の欄に数字が入っているのは理解しにくい。斜線にした方がよいのでは。

鈴木担当課長

斜線に変更する。

吉林委員

モニタリング指標の目的が分かりにくいいため、欄外に※印をして「平成36年度までに上昇」と入れたらよいのでは。

鈴木担当課長

全ての数値が上がっていくことが目標であるということが分かるように矢印で見せていく。

杉島委員

事業成果・社会成果指標一覧について、目標に対して結果が分かるように○×、ニコマーク等を使って資料を分かりやすくしたほうがよい。

また、P48, 49の計画の推進の成果指標の中で、指標ごとの関連性はあるか。例えば、市の女性職員が管理職に占める割合が50%になったら、「夫は外で働き、妻は家庭を守るのがよい」という意見に否定的な人の割合が50%を上回るとか、その他指標ごとの関連性を考慮しているか。

鈴木担当課長

各課の持っている個別計画の中の指標を目標としているので、指標ごとの関連性は考慮していない。

山本委員

将来の人口展望と男女共同参画計画がどのように関係しているのか。また、P10, 11の事業成果・社会成果指標一覧のページをパッと見て分かるようにしてほしい。

鈴木担当課長

男女共同参画社会の背景には、人口減少の課題がある。そのために取り組むべきものがワーク・ライフ・バランスだが、働いている女性が2人目を産まない理由として、男性が家事・育児に関わらないという統計もある。男女共同参画社会を目指すためには、子供を産み育てる環境を整えなければいけない。人口ビジョンと関連性を持たせていかなければならないと考えている。

犬塚会長

将来の人口展望と男女共同参画計画がどうつながるのかが分かりにくいのであれば、例えば、P7の将来の人口展望の説明の後に、「この計画を着実に実施することは、人口戦略に向けても役立つ」という一文を加えたらよい。

平口委員

P9の2行目、「全ての女性が輝く社会の実現のためには」とあるが「女性」とせず「全ての人」とした方がよい。また「女性に対するあらゆる暴力」という文言も、DVの被害者は女性だけでなく男性にも起こるという認識なので、「男女」と変えた方がよい。

犬塚会長

2次計画では、「女性に対する暴力」という表現で統一させていたのか。ここは、2次計画の評価なのでそのまま使っていけばよいという考えもある。そうでなければ、改めて、3次計画の中の文言を検討していけばよい。

鈴木担当課長

2次計画では、「女性に対する暴力」の視点で作成している。しかし、これから作成する計画は、加害者が女性になりうることも意識していかなければならない。

平口委員

「女性に対する暴力」の文言は、今回は2次計画の評価なので、このままでよい。先の発言を一部訂正する。

犬塚会長

「全ての女性が輝く」の表現は、女性だけに限定しない方がよいということか。

平口委員

そうだ。

鈴木担当課長

「全ての人」にしてしまうと後に続く「女性に対するいかなる暴力」のインパクトが変わってきてしまう。前後の文を整えた段階でもう一度見直したい。

犬塚会長

男性も被害者になるということなら、3行目の「被害者の立場にたった」の前に、「男性も含めた」を入れると問題が解決する。

谷野副会長

「頭上訓練」という文字は「図上訓練」の間違いである。用語の解説も加えていただくとよい。P36の浜松市のアンケートの結果で「夫は外で働き、妻は家庭を守るのがよい」という考え方で、回答した方の年代が高かったということから、注釈を入れるわけにはいかないか。

鈴木担当課長

今回の結果は、国の属性とも比較をしたところ国とは差異が無かった。特段、浜松市だけ高い年齢の方が回答したわけではないので、あえて注釈はつけなかった。

谷野副会長

P41の「ひとり親家庭の状況のグラフ」であるが、母子家庭と父子家庭のスケール（単位）を同じにすると、母子家庭のほうに格段に多いということを表現できるのではないか。

鈴木担当課長

ご意見を参考に、より差が分かるようにスケール（単位）を変えさせていただく。

谷口委員

読む人の知識をどのくらい想定しているのか。注釈を加えていただきより分かりやす

くしてほしい。

鈴木担当課長

パブリックコメントでは、用語解説も添えて意見を伺うということで準備をしている。分かりにくい言葉があったら、事務局で用語解説を集約するので知らせてほしい。

平口委員

P18の「ワーク・ライフ・バランスの推進は」の一文は、主語と述語を修正した方がよい。

犬塚会長

ご意見のとおりである。修正をした方がよい。

P41の「ひとり親家庭の状況のグラフ」であるが、母子家庭と父子家庭のスケール(単位)を同じにするというご意見もあったが、統一するなら一つのグラフの中に両方入れてしまうことも検討したらよい。

P48の成果指標の中で、「生活に困難を抱える男女への支援」で、「外国人市民への分かりやすい情報発信の目標値又は基準値(H36)」が1回とあるが、H36年度までに1回やるという意味に捉えられるので、年間で1回以上と分かるように書き方を変えたらよい。

3 その他

清水G長

本日の計画案には、ご意見を参考に修正を加え、今後パブリックコメントを行う予定をしている。

次回の審議会は、1月下旬から2月上旬を予定している。

4 閉会

犬塚会長

本日の議事を終了する。

清水G長

以上をもって、第4回の審議会を閉会する。